



# MARLEY MKII

HIGH PERFORMANCE HEADPHONES AMPLIFIER



Marley MkII をご購入いただき、ありがとうございます。この製品は、あらゆるハイファイシステムで最高のパフォーマンスを得ることを目指して設計された、ユニークな特徴を数多く備えた非常に高品質なヘッドフォン・アンプです。

Marley MkII は、ディスクリート・コンポーネンツによるバランス回路のパワー・ステージから、3バンドのトーン・コントロール、低インピーダンスのヘッドフォンでも高出力で駆動する能力、さらには使い易さや信頼性に至るまで、機能とテクノロジーの両面で特別なソリューションを実現しています。さらに Marley MkII はプリアンプの機能も持っているので、パワーアンプに直接接続して使用することをお奨めします。

Marley MkII は各種入出力端子をすべて備えており、これによってあらゆる種類のヘッドフォンを使用することができ、どんなアンプやヘッドフォンも駆動できます。Bluetooth レシーバーを装備しているので、スマートフォンやタブレットから直接 Marley MkII をコントロールすることもできます。

出力インピーダンスが選択可能なシングルエンド出力とバランス出力を備えているので、あらゆる種類のヘッドフォンを駆動することができます。出力インピーダンスは3つの数値に設定することができるので、もっとも駆動のむずかしいヘッドフォン・モデルでも最高のサウンド・パフォーマンスを達成することができます。

3バンドのトーン・コントロールとクロスフィード回路によって、Marley MkII のサウンドを、ご使用のヘッドフォンや好みに合わせることができます。

フル機能のリモコンによって、Marley MkII はもとより、M2TECH の Rockstars シリーズの製品をすべてコントロールすることができます。

MARLEY MkII は皆様のご期待に応えることができると確信しています。お好きな音楽を、これまでにない音で聴くことができるでしょう。すべてが新しい体験の始まりです！

ナディア・マリノ (CEO)

将来必要になることがあるかもしれませんので、ご購入になった Marley MkII のシリアルナンバーとご購入年月日をここにひかえておいてください。

シリアルナンバー：

ご購入年月日：

**注意：保証による修理を受ける場合は、レシートなど、購入を証明するものが必要になります。**

## 目次

- 第1章 . 開封と設置
- 第2章 . フロント・パネル（前面）
- 第3章 . バック・パネル（背面）
- 第4章 . リモコン
- 第5章 . 接続して電源を入れる
- 第6章 . ユニットの清掃
- 第7章 . Marley MkII を使う
  - 7.1. ボリューム設定
  - 7.2. ミューティング・スイッチ
  - 7.3. ソースの選択
  - 7.4. メニューの操作
    - 7.4.1. ディスプレイのバックライト：ディスプレイのバックライトを設定する
    - 7.4.2. バランス設定：バランスを設定する
    - 7.4.3. ボリューム・ステップ：ボリューム・ステップを設定する
    - 7.4.4. ボリューム表示モード：ボリューム表示モードを選択する
    - 7.4.5. 電源投入時のボリューム：電源投入時のボリュームを選択する
    - 7.4.6. フェード・コントロール：入力切り替え時のフェードアウトとフェードイン
    - 7.4.7. トーン・コントロール：トーン・コントロールを有効にする／無効にする
    - 7.4.8. トーン・コントロール・レベル：トーン・コントロール・レベルを設定する
    - 7.4.9. クロスフィード：クロスフィードを有効にする／無効にする
    - 7.4.10. 出力インピーダンス：使用するヘッドフォンに合わせて適正なインピーダンスを選択する
    - 7.4.11. 自動電源 OFF の設定：自動電源 OFF を設定する
    - 7.4.12. スタンバイ時の LED：フロント・パネルの LED の動作を設定する
    - 7.4.13. リモコンによる電源 ON / OFF の有効化、無効化
    - 7.4.14. 電源モード：電源を入れた時の Marley MkII の動作を設定する。
    - 7.4.15. トリガー・アウト・モード：Marley MkII のトリガー出力の動作を設定する
    - 7.4.16. Bluetooth：Bluetooth レシーバーを有効にする／無効にする
    - 7.4.17. Bluetooth 情報：Bluetooth インターフェース情報にアクセスする
    - 7.4.18. ファームウェアの改訂：ファームウェアの改訂情報にアクセスする
    - 7.4.19. デフォルト設定：工場出荷時の設定に戻す
  - 7.5. 電源モードとスタンバイ
- 第8章 . Marley MkII を Bluetooth インタフェースでコントロールする
- 第9章 . 仕様

## 第1章． 開封と設置

Marley MkII の入った箱をテーブルの上に置き、シールを剥がすか切って外箱を開けます。内箱を取り出してふたを開けます。以下の内容物が入っています。

- Marley MkII 本体× 1
- 電源 (AC) アダプター× 1
- リモコン× 1

注意：リモコンの電池は輸送の規制に伴い同梱しておりません。

何かが入っていない場合は、ディーラーにご連絡ください。

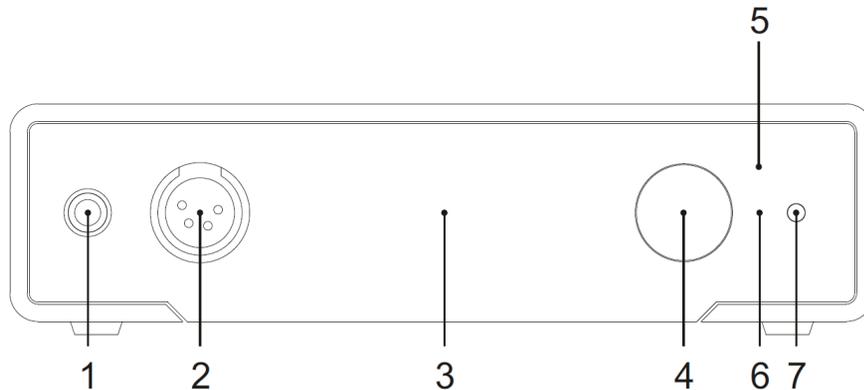
Marley MkII を箱から取り出したら、熱の当たらないしっかりとしたテーブルに置いてください。本体に直射日光が当たらないようにしてください。通気のために、ユニットの周囲には十分に空間を確保してください。

Marley MkII はきわめて効率の高い機器です。したがって、稼働中にもそれほどの発熱はしませんが、それでもユニットの周囲には通気のための十分なスペースを確保することをお勧めします。また、主としてリモコンで操作することになりますので、リモコンの赤外線がユニットのフロント・パネルに届きやすくなるように設置することをお勧めします。

煙、湿気、埃、液体のかからないところにユニットを設置してください。間違った使い方をされた場合は保証の対象外となります。

厚手のカーペットの上や、箱の中、家具の内側には設置しないでください。カーテンに近いところに設置するのも避けてください。

## 第2章. フロント・パネル (前面)



### 1) シングルエンド・ヘッドフォン出力

6.35mm ステレオ・ジャックの付いたヘッドフォンを接続します。

### 2) バランス・ヘッドフォン出力

4 ピンの XLR ジャックの付いたヘッドフォンを接続します。

### 3) ディスプレイ

多機能液晶ディスプレイです。通常の操作時は、選択されている出力のボリューム・レベル、選択されているソース、トーン・コントロールの設定、ミュート（消音）の状態、クロスフィード（設定されている場合）を表示します。メニューにアクセスしている時は、選択されたメニュー項目とそれに関連する数値が表示されます。

### 4) エンコーダー

メニューへのアクセスとメニューの各項目の設定、入力を選択、ボリュームの調節に用います。回して押すという形式になっています。使用法の詳細は「7. Marley MkIIを使用する」をお読みください。

### 5) リモコン受光器

リモコンをここに向けてコマンドを送ります。

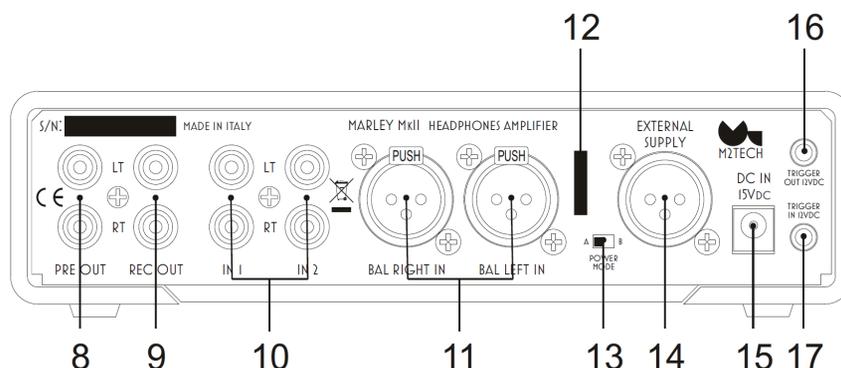
### 6) スタンバイ LED

Marley MkII がスタンバイ・モードの時にこの LED が点灯して、リモコンで電源を入れることができることを示します。

### 7) 電源 ON / 電源 OFF / MUTE / MENU EXIT (電源 ON / 電源 OFF / ミュート / メニュー終了ボタン)

Marley MkII の電源が OFF の時に電源を ON するには、このボタンを押します。Marley MkII の電源が ON の時に、そしてメニューにアクセスしていない時には、短押しでミュート（消音）に切り替わります。メニューにアクセスしている場合は、短押しで直ちにメニューから抜け出すことができ、設定を反映せずに終了することができます。Marley MkII の電源が ON の時に長押しすると、電源を OFF にすることができます。

### 第3章. バック・パネル (背面)



#### 8) プリアンプ出力

Marley MkII を RCA ケーブルでプリアンプに接続します。この出力端子は、フロント・パネルのシングルエンド・ヘッドフォン出力と同時に使用できます。金メッキの RCA 端子 (メス) です。

#### 9) テープ出力

この出力を RAC ケーブルでテープデッキの入力端子に接続します。金メッキの RCA 端子 (メス) です。

#### 10) シングルエンド・アナログ出力端子

シングルエンド・ライン・レベル出力を装備したアナログ機器を接続します。金メッキの RCA 端子 (メス) です。

#### 11) バランス・アナログ出力端子

バランス・ライン・レベル出力を装備したアナログ機器を接続します。3 極の XLR 端子 (メス) です。

#### 12) Bluetooth モジュール・アンテナ

メタル・シールドをきれいに保ってください。

#### 13) 電源モードスイッチ

自動電源 ON 機能を無効にする場合は「A」に設定します。自動電源 ON 機能を有効にするには「B」に設定します。

#### 14) 外部電源入力端子

VAN DER GRAAF MkII に同梱されている 4 ピンケーブルを使って、VAN DER GRAAF MkII の 4 ピン出力端子のひとつと接続します。

#### 15) 電源入力端子

同梱の電源アダプター (15V、2.3A) を接続します。5.5 / 2.1mm ジャック (センタープラス) です。

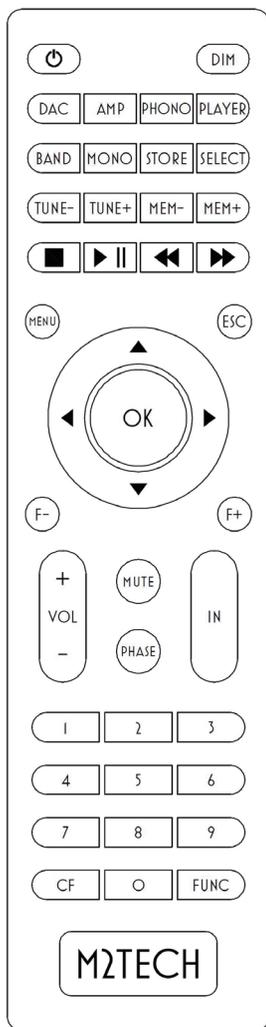
#### 16) トリガー出力端子

他の機器の 12VDC に対応したトリガー入力端子に接続します。3.5mm ジャック (メス) です。

#### 17) トリガー入力端子

他の機器の 12VDC に対応したトリガー出力端子に接続します。3.5mm ジャック (メス) です。

## 第4章. リモコン



Marley MkIIにはフル機能のリモコンが同梱されています。これによってMarley MkIIの機能のすべてをコントロールすることができるとともに、M2TECHのRockstarsシリーズの他の製品もコントロールすることができます。

Marley MkIIにリモコンのコマンドを送ると、「AMP」キーが緑色に点滅します。「DAC」「PHONO」「PLAYER」など他のキーが点滅した場合は、Marley MkIIがコマンドを受け取っていないことを意味します。この場合には「AMP」キーを押して正しいコマンド・コードをMarley MkIIに送ります。

以下が各キーの簡単な説明です。

### Standby（電源キー）

このボタンを押して、ユニットをスタンバイ状態にしたり（長押し）、稼働状態にしたりします。

### DIM

ディスプレイの自動ON / OFFを切り替えます。

### AMP

このアンプのシステム・コードを使ってリモコンにコマンドを送るように指示します。

### MENU

このボタンを押してメニューにアクセスします。

### ESC

このボタンを押してメニューを出ます（設定の変更は無効になります）。

### 矢印

メニューを操作します。

### OK

変更を保存してメニューを出ます。

### VOL + / VOL -

ボリュームを調節します。

### MUTE

ミュート（消音）をONにしたりOFFにしたりします。

### IN + / IN -

入力を選択します。

## 第 5 章 . 接続して電源を入れる

**警告:** Marley MkII と他の機器の接続は、すべての機器の電源を OFF にして行ってください。そうしないと、Marley MkII または他の機器の故障の原因になることがあります。

「3. バック・パネル（背面）」をご参照ください。

アナログ機器を入力端子（図 2 の 10 と 11）に接続します。Bluetooth 接続はユニットの電源を ON にした後に行います。

Marley MkII をプリアンプとして使用する場合は、「PRE OUT」出力端子（図 2 の 8）からパワーアンプの入力端子に接続します。それ以外の場合は、「TAPE OUT」出力端子（図 2 の 9）をプリメインアンプやプリアンプの入力端子に接続します。

Marley MkII の電源を ON にした後に接続されている他の機器の電源も ON にしたい場合は、Marley MkII のトリガー出力（図 2 の 16）を他の機器の 12VDC に対応したトリガー入力に接続します。

Marley MkII に接続された他の機器の電源を ON にした後に Marley MkII の電源も ON にしたい場合は、Marley MkII のトリガー入力（図 2 の 17）を他の機器の 5VDC ~ 12VDC に対応したトリガー出力に接続します。

電源アダプターまたは VAN DER GRAAF MkII を家庭用電源コンセントに接続します。この電源アダプターは、AC90V ~ 265V の電圧に自動的に対応するように設計されています。

フロント・パネルの右側の電源ボタン（図 1 の 7）を押して、Marley MkII の電源を入れます。VAN DER GRAAF MkII を使用し、電源モード・スイッチ（図 2 の 13）を「B」（自動電源オン）に設定している場合は、VAN DER GRAAF MkII が稼働状態に入ると Marley MkII は自動的に電源 ON になります。詳細は「7.5. 電源モードとスタンバイ」をご参照ください。

**注意:** Marley MkII をプリアンプとして使用する場合は、まず Marley MkII の電源を ON にしてからパワーアンプの電源を ON にするように心がけてください。電源を OFF にする場合は、まずパワーアンプを OFF にした後に Marley MkII を OFF にします。Marley MkII のトリガー出力を使えば、これが自動的に行われます。

**注意:** 音質を向上させるために、同梱の電源アダプターの代わりに専用の低ノイズ電源を使用することができます。サウンド・パフォーマンスを向上させるために、M2TECH は VAN DER GRAAF MkII JP Edition を用意しています。また弊社日本国内代理店によって iFi audio iPower Elite 15V での動作確認を行っております。上記以外の電源を万が一ご使用になって問題が生じた場合には、M2TECH は Marley MkII の保証を無効にする権利を有します。

## 第 6 章 . Marley MkII の清掃

Marley MkII を清掃する際は、やわらかくて湿った布を使用してください。アルコールその他のクリーニング液は、ユニットを損傷する可能性がありますので、使用しないでください。

通気グリッドの穴に液体をこぼしたりしないでください。どのようなタイプの液体も、通気用の穴に入った場合は、保証の対象外となります。

プレキシガラスのフロントガラスを引っ掻いて傷つけないようご注意ください。  
(プレキシガラスは飛行機の風防や窓ガラスに用いられるアクリル樹脂です。)

## 第7章. Marley MkII を使用する

Marley MkII のスイッチを入れて使用できるようになるまでには少し時間がかかります。その間に Marley MkII は、すべての接続や設定が定格どおりになっているかをチェックするからです。この状態の時には、ディスプレイにモデル名が表示されます。



アクティベーションが終了すると、全般情報がディスプレイに表示されます。選択されているソース、出力インピーダンス、ボリューム・レベル、クロスフィード（有効にしている場合）、トーン・コントロールの設定値などです。ミュート機能が有効になっている場合はボリューム・レベルが点滅します。



### 7.1. ボリューム設定

ボリュームを設定するには、エンコーダーのノブ（図1の4）を回します。リモコンの「VOL +」キーと「VOL -」キーを押すか、アプリのボリューム・バーを動かすことで設定することもできます。

ボリュームは、-85dB（最小）から 0dB（最大）の範囲で、0.5dB 刻みで設定することができます。

### 7.2. ミュートイング・スイッチ

Marley MkII は、エンコーダーを使わなくても音量を瞬時に 20dB 下げることができるミュートイング機能を備えています。再生中にちょっと人と話をする、トラックを変える、電話に出るなど、一時的に音量を下げる必要がある時に便利な機能です

ミュートイングの ON / OFF は、フロント・パネルの右側のボタン（図1の7）を短押しして切り替えることができます。ミュートイングが有効な時には、ボリューム・レベルが点滅します。

ミュートイングを解除するには、フロント・パネルのボタンをもう一度押すだけです。元のボリューム・レベルに瞬時に戻り、ボリューム・レベルが点滅しなくなります。

リモコンの「MUTE」キーを押すことでもミュートイングの ON / OFF の切り替えができます。

**警告：**ミュートイングを有効にする時には、ボリューム・レベルに注意してください。ボリュームを上げすぎたままにしていると、ミュートイングが解除された時にボリュームが大きすぎてスピーカーや耳に損傷を与える可能性があります。ミュートイング・モードの時、そしてまた Marley MkII の電源を ON / OFF する時は、常にボリュームを下げることをお奨めします。

### 7.3. ソースの選択

Marley MkII は様々な入力を備えているので、様々なソースに接続して、それらを切り替えて聴くことができます。

ソースを切り替えるには、エンコーダーのノブを短押しします。現在選択しているソースがディスプレイに表示されます。好みのソースが表示されるまでエンコーダーのノブを回します。もう一度ノブを押して確定します。これで新しいソースが選択されました。

入力を変えようと思った後に気が変わり、そのままの入力を継続したいと思った場合は、フロント・パネルの右側のボタン（図 1 の 7）を押してください。あるいは、そのままの状態の数秒間何も操作しなければ、Marley MkII はソースの選択を切り替えずに、自動的に「アイドル」の状態に戻ります。

### 7.4. メニューの操作

Marley MkII は様々なパラメーターを設定することができますが、その中にはメニューにグループ分けされているものがあり（あまり頻繁に変更されないもの）、これはフロント・パネルのボタンとリモコンの専用キーの両方で操作することができます。

メニューにアクセスするには、エンコーダーを少なくとも 2 秒以上長押しする、リモコンの「MENU」キーを押す、アプリのコンフィギュレーション・ページにアクセスするかのどれかを行います。

エンコーダーの短押しを繰り返す、またはリモコンの「▲」キーと「▼」キーを押すことで、メニュー項目をスクロールすることができます。

希望のメニュー項目が表示されたら、エンコーダーを回して、またはリモコンの「◀」キーと「▶」キーを使って、希望の数値を選択します。

希望の数値が表示されたら、エンコーダーを短押しして、またはリモコンの「OK」キーを押して、確定します。

操作中に気が変わって、現在の数値をそのまま維持したい時は、フロント・パネルの右側のボタン（図 1 の 7）、またはリモコンの「ESC」キーを押してメニューを出ることができます。

以下にメニューの全項目を説明します。

#### 7.4.1. ディスプレイのバックライト：ディスプレイのバックライトを設定する

Marley MkII のディスプレイ・バックライトは、2通りのモードに設定することができます。「AUTO OFF（自動OFF）」と「ALWAYS ON（常時ON）」です。「AUTO OFF」モードでは、ディスプレイは、コマンド実行時以外は常にOFFの状態になります。「ALWAYS ON」モードを使うと、ディスプレイは常にONの状態になります。

バックライト・モードを設定するには、メニューの第1階層にアクセスするか、リモコンの「DIMキー」を使います。



設定の結果はリアルタイムで直ちに見ることができます。「DIM」キーを使うと、現在の設定の状態を示すメッセージが短時間ディスプレイに表示されます。

### 7.4.2. バランス設定：バランスを設定する

Marley MkII は  $\pm 6$ dB の範囲で、0.5dB 刻みでバランス（つまり左右チャンネルの相対的なレベル）を設定することができます。バランスを設定するには、メニューの第 1 階層にアクセスします。



バランスが中央の時には、ディスプレイに以下のように表示されます。



下図は、バランスが 2.5dB 左に設定されている状態を示しています。



下図は、バランスが 1dB 右に設定されている状態を示しています。



左チャンネルのレベルを右チャンネルのレベルよりも増加させるには、エンコーダーのノブを反時計回りに回すか、リモコンの「◀」キーを押します。右チャンネルのレベルを左チャンネルのレベルよりも増加させるには、エンコーダーのノブを時計回りに回すか、リモコンの「▶」キーを押します。

新たに設定したバランスを確定したりキャンセルしたりする場合は、「7.4. メニューの操作」をご参照ください。

バランスの変更は、エンコーダー・ノブを回すか、リモコンの「◀」キーと「▶」キーを押すことで、リアルタイムで聴くことができます。新たに設定されたバランスは、直ちにメモリーに保存されます。

### 7.4.3. ボリューム・ステップ：ボリューム・ステップを設定する

Marley MkII の出力レベルは、1dB または 0.5dB の 2 通りのステップで設定することができます。1dB を選択すると、広範囲を素速く移動することができ、0.5dB を選択すると、ステップが 2 倍になるのでより細かな設定が可能になりますが、移動速度は遅くなります。



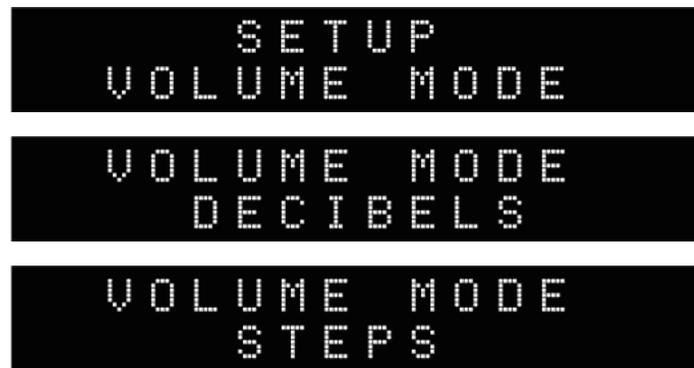
#### 7.4.4. ボリューム表示モード：ボリューム表示モードの選択

Marley MkII のボリューム・レベルは、デシベル (dB) 方式またはステップ方式の 2 通りに表示することができます。

デシベル方式の場合は、最大ボリュームが「0dB」で、マイナス数字の値が大きくなるほどボリュームが下がります。たとえば、「-15dB」は「-20dB」よりもボリュームが高いということになります。

ステップ方式の場合は、最大ボリュームが「170」で、プラス数字の値が小さくなるほどボリュームが下がります。たとえば、「40」は「30」よりもボリュームが高いということになります。

注意：どちらのモードを選択しても、実際のボリューム設定結果は同じです。Marley MkII は、0 ～ -85dB の間で、0.5dB 刻みでボリュームを設定することができます。上記のボリューム表示モードのどちらを選んだかに応じて、ボリューム表示の外観が変わるだけです。



下図は、2つのボリューム表示モードの例です。



#### 7.4.5. 電源投入時のボリューム：電源投入時のボリューム設定を選択する

Marley MkII の電源投入時にボリュームをどの状態に設定するかを選択することができます。最低（消音）または、前回の最後に設定したボリュームのどちらかを選択することができます。



#### 7.4.6. フェード・コントロール：入力切り替え時のフェードアウトとフェードイン

ヘッドフォンで音楽を聴いている時、入力切り替え時に突然ボリューム・レベルが変わって不快に感じることがありますが、フェードアウト&フェードイン機能を有効にすることによって、新たな入力に移行する前にボリューム・レベルを穏やかに下げ、移行後にボリューム・レベルを上げることができます。



#### 7.4.7. トーン・コントロール：トーン・コントロールを有効にする／無効にする

Marley MkII には 3 バンドのトーン・コントロール回路が装備されており、アンプの周波数レスポンスをヘッドフォンの周波数レスポンスに合わせたり、自分の好みに合わせたりすることができます。トーン・コントロールは、必要のない時には無効にすることができます。



#### 7.4.8. トーン・コントロール・レベル：トーン・コントロール・レベルを設定する

トーン・コントロールが有効になっている時は、メニューにアクセスして、各バンドのレベルを好みに応じて設定することができます。現在のレベルがスクリーンの下段に表示されます。選択したバンドのレベルが点滅します。リモコンの「◀」キーと「▶」キーを使って設定するバンドを選択し、選択したバンドの数値はリモコンの「▲」キーと「▼」キーで設定します。



#### 7.4.9. クロスフィード：クロスフィードを有効にする／無効にする

Marley MkIIはクロスフィード回路を装備しています。左右チャンネルを部分的にブレンドすることで、チャンネル・セパレーションを落とす回路です。これは、オーディオ・エンジニアがステレオ・テクノロジーにまだ習熟していなかったステレオ初期の時代に録音された音源を聴く時に有用です。こういった古い録音は、いわゆる「ピンポン効果」の影響を受けていることがよくあります。楽器とヴォーカルが片チャンネルずつに押しやられ、両チャンネルの間にくるように調整されていないため、リアルな音場が生まれません。この効果は、スピーカーで聴いていても不快なのですが、ヘッドフォンで聴くとさらに不快が増します。この「ピンポン効果」を低減するためには、クロスフィード回路を使わなければなりません。

もっと近年の音源にはクロスフィードは不要なので、その場合はクロスフィード回路を無効にすることができます。



#### 7.4.10. 出力インピーダンス：使用するヘッドフォンに合わせて適正なインピーダンスを選択する

ヘッドフォンは、モデルごとに独自のインピーダンスを持っており、特定の駆動インピーダンスで最高の性能を発揮します。Marley MkII では、使用するヘッドフォンに最適な数値に基づいて、出力インピーダンス（つまりヘッドフォンを駆動するためのインピーダンス）を選択することができます。

出力インピーダンスは3つから選択することができます。Lo-Z（実質的にインピーダンスがゼロ）、10 Ω、47 Ωです。一般的に、ヘッドフォンのインピーダンスが高ければ高いほど、駆動インピーダンスも高くします。32 Ωのヘッドフォンは、おそらくは10 Ωの駆動インピーダンスが最適で、300 Ωのモデルなら、47 Ωの駆動インピーダンスが最適でしょう。

いずれにせよ、低域のスピードやトランジェント・レスポンスという点では、適正な出力インピーダンスは個人の好みにもよるといえることは覚えておいてください。



#### 7.4.11. 自動電源 OFF の設定：自動電源 OFF を設定する

省エネルギーに関する EU の要請に従って、Marley MkII は一定のアイドル時間を過ぎると自動で電源を OFF にすることができます。アイドルとは、ボリュームやミュートなどの操作を何もしない状態という意味です。

自動電源 OFF の時間を設定することができます（10 分～ 240 分の間で、10 分刻み）。自動電源 OFF 機能を無効にすることもできます。

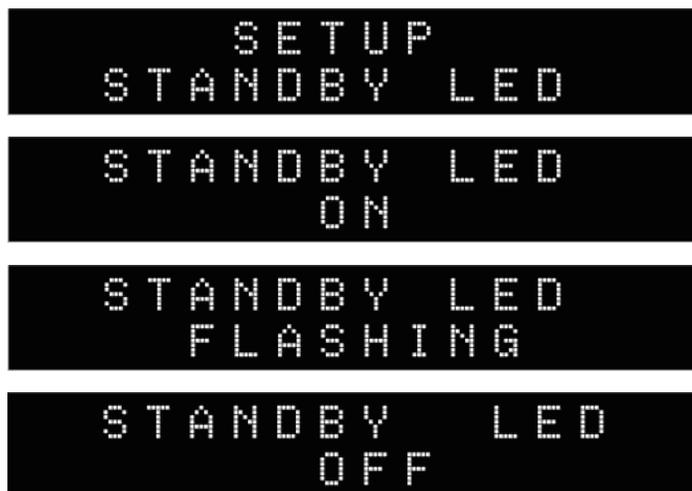


注意：自動電源 OFF 機能を無効にするには、「OFF」を選択します。

#### 7.4.12. スタンバイ時の LED：フロント・パネルの LED の動作を設定する

Marley MkII のフロント・パネルの LED（図 1 の 6）は、使用状況に応じて 3 つの異なるモードで動作させることができます。

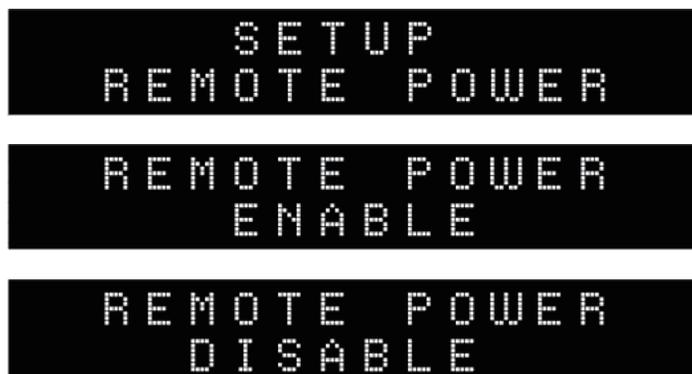
- ON：Marley MkII のスタンバイ時に LED がずっと点灯
- FLASHING：Marley MkII のスタンバイ時に LED が点滅
- OFF：Marley MkII のスタンバイ時に LED が消灯



#### 7.4.13. リモコンによる電源の ON / OFF：Marley MkII がリモコンの電源 ON / OFF コマンドを受けるか無視するかを設定する

Marley MkII を VAN DER GRAAF MkII とともに使用し、かつ自動電源 ON 機能が有効になっている時は、リモコンからの電源 ON / OFF コマンドを受けつけないようにするのが望ましいでしょう。そうすれば、VAN DER GRAAF MkII の方がリモコンからの ON / OFF コマンドを受信して実行するからです。

こうすることによって、リモコンの ON / OFF キーを押して、Marley MkII や、接続されている M2TECH のその他のユニットに、プログラムした順番にしたがって VAN DER GRAAF MkII から電力を供給したり、しなくしたりすることができるのです。詳細は、VAN DER GRAAF MkII のマニュアルをご参照ください。



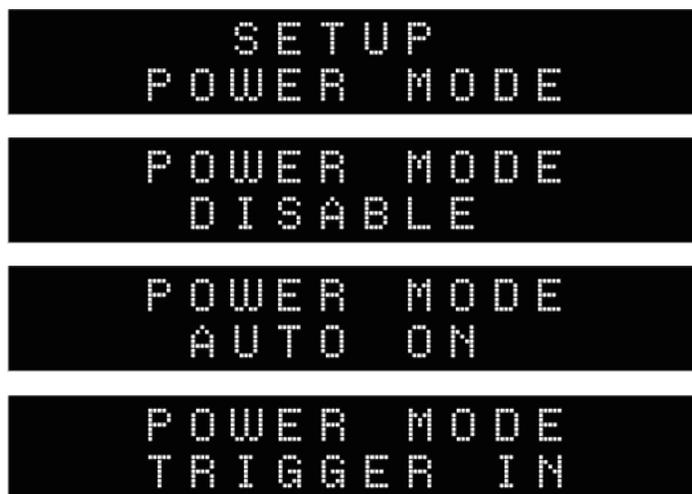
#### 7.4.14. 電源モード：電源を入れた時の Marley MkII の動作を設定する

Marley MkII は、電源コードを接続した（図 2 の 14 と 15）時の動作を設定することができます。

コードを接続すると直ちに電源が ON になって使用できるようにするか、フロント・パネルのボタン（図 1 の 7）を押すまで電源が入らないようにするかを、選択することができます。

Marley MkII を電源アダプターを使用して単独で使用する場合は、フロント・パネルのボタンを押すまで電源が入らないようにするのがいいでしょう。一方、Marley MkII を VAN DER GRAAF MkII や、その他の電源ユニット（グローバル・アクティベーション・コントロールやトリガー機能に準拠しているもの）とともに使用する時は、コードを接続すると直ちに電源が ON になって使用できるようにするのがいいでしょう。

Marley MkII の電源の状態は、バック・パネルの電源モードスイッチ（図 2 の 13）と以下のメニューを組み合わせることで操作し、設定します。詳細は、「7.5. 電源モードとスタンバイ」をご参照ください。



#### 7.4.15. トリガー・アウト・モード：Marley MkII のトリガー出力の動作を設定する

Marley MkII はトリガー出力端子を装備しています。これによって、接続された他の機器の電源を入れたり切ったりすることができます。ソース機器の場合は、Marley MkII の電源が入る前に、パワーアンプの場合は、Marley MkII の電源が入った後に、電源を入れるのが望ましいでしょう。

```
      SETUP
TRIGGER OUT MODE

TRIGGER OUT MODE
      NORMAL

TRIGGER OUT MODE
      SOURCE
```

#### 7.4.16. Bluetooth：Bluetooth レシーバーを有効にする／無効にする

Bluetooth インターフェースを有効にしたり無効にしたりすることができます。以下のメニューにアクセスして実行します。

```
      SETUP
      BLUETOOTH

      BLUETOOTH
      ENABLE

      BLUETOOTH
      DISABLE
```

#### 7.4.17. Bluetooth 情報：Bluetooth のインターフェース情報にアクセスする

Marley MkII の Bluetooth インターフェースの情報を知っておくと、役に立つことがあるでしょう。Bluetooth インターフェースは、ご使用のスマートフォンのアクセス可能な Bluetooth 機器一覧中で、Marley MkII を確認するために使用することができます。

```
SETUP
BT INFO

BT DEVICE NAME
MARLEY-BE52
```

実際には、「BE52」の4文字は Marley MkII 専用の数値に置き換えられます。

```
MAC ADDR : D4 : 63 :
          : 9B : BE : 52 : 12
```

#### 7.4.18. ファームウェアの改訂：ファームウェアの改訂情報にアクセスする

Marley MkIIは様々なマイクロ・コントローラーが相互に作用し合って正しく動作するように作られた、複雑な機器です。M2TECHは内蔵コントローラーの全般的なアップデートをリリースすることがあります。アップデートが必要かどうかを決定するためには、Marley MkIIの現在のファームウェアのリリース情報にアクセスする必要があります。これはメニュー中のファームウェアの改訂に関連する項目にアクセスして行います。

言うまでもありませんが、フロント・パネルのディスプレイに表示された内容を変更することはできません。リモコンでも何も変更できません。表示されたファームウェアの変更は工場でのみできません。

```
      SETUP
FIRMWARE  REV.

      FIRMWARE
REV.  0.08-HM
```

#### 7.4.19. デフォルト設定：工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻したい場合は、以下のメニューにアクセスして実行します。これまでの設定はすべて失われてしまいますので、注意してください。

```
      SETUP
      DEFAULT
```

工場出荷時の設定に戻す前に、Marley MkIIが確認を求めます。「YES」か「NO」で答えます。

```
      DEFAULT
ARE YOU SURE?
```

答えが「YES」の時は、デフォルトのリセットが適用されます。

```
      DEFAULT
SETTINGS APPLIED
```

答えが「NO」の時は、命令が無効になります。

```
      DEFAULT
      NO
```

## 7.5. 電源モードとスタンバイ

バック・パネルのスイッチ（図2の13）の設定に応じて、Marley MkIIはフロント・パネルの右側のボタン（図1の7）を長押しして電源を切ることができます。数秒後にユニットの電源がOFFなり、電流がゼロになります。

リモコンのキーで Marley MkII をスタンバイ状態にすることも可能です。この場合は、Marley MkII は、フロント・パネルのスイッチを OFF にした時と同じように動作を停止しますが、メイン・コントローラー、Bluetooth レシーバー、リモコン受光機能は機能しているので、最低限の電流消費を継続しています。したがって、リモコンからの電源再開コマンド（「standby」キーをもう一度押す）、ペアリングされた Bluetooth 機器のアプリからの電源再開コマンド、あるいはフロント・パネルのボタンによる何らかの操作があれば、いつでも電源を再開します。

スタンバイ・モードは、メニュー(7.4.12.)で特定の設定がされていなければ、フロント・パネルにLED(図1の6)で表示されます。

**注意:**電源がOFFの時にも、Marley MkIIにはごくわずかな電流が流れていますが、これは実質的には無視できるレベルです。

**注意:**バック・パネルの電源モード・スイッチが「B」に設定されている時は、Marley MkIIの電源を完全にOFFにすることはできません。フロント・パネルのボタンを長押ししても、スタンバイ・モードになるだけです。

電源モード・スイッチが電源ソケットに近い側に設定されていると（図2の13のB）、Marley MkIIは、電源が投入されると直ちに稼働状態になります。これは、メニューの「自動電源ON」が有効になっているかどうかによって異なります。

電源モード・スイッチが電源ソケットから遠い側に設定されていると(図2の13のA)、Marley MkIIは、電源が投入されてもすぐには稼働状態にはならないので、フロント・パネルのボタンを押して、Marley MkIIのスイッチをONにしなければなりません。

## 第8章． Marley MkII を Bluetooth インターフェイスでコントロールする

Android と iOS のスマートフォンをご使用の場合、Google Play と Apple Store から無料でダウンロードできる M2TECH 開発のアプリ(まもなく利用できるようになります)によって、Marley MkII をコントロールしたり、すべてのパラメーターを設定したりすることができます。

以下の M2TECH のウェブサイト で Marley MkII の製品ページ をチェックしてください。  
[www.m2tech.biz](http://www.m2tech.biz)

## 第9章. 仕様

入力 : XLR ライン 1 系統、RCA ライン 2 系統

出力 : RCA ライン 1 系統、6.3mm シングルエンドヘッドフォン 1 系統、XLR4pin バランスヘッドフォン 1 系統、RCA 録音用バイパス 1 系統

入力感度 : 1.1Vrms

入力インピーダンス : 47kOhm(RCA), 20kOhm(XLR)

出力インピーダンス (ヘッドフォン) : 3 段階切り替え式 (Lo-Z, 10  $\Omega$  , 47  $\Omega$  )

S/N 比 : 115dB(シングルエンド・A 補正)、118dB(バランス・A 補正)

THD+N : 0.0008%@9Vrms 8  $\Omega$  負荷

トーンコントロール : +/- 12dB(1dB ステップ)

入力電源電圧 : 15V DC もしくは、+15/-15/+5V DC

消費電力 : 33W(動作時)、0.5W(待機時)

サイズ : 200 x 200 x 50mm (幅、奥行き、高さ)

重量 : 2kg

標準的な小売価格 : 275,000 円 (税込)

JAN コード : 4589631464765

保証 : 12 ヶ月

※仕様は予告なく変更する場合があります